

ポータブル着棧支援装置



港湾設備を損傷する事故において離着棧時の岸壁及び岸壁上設備の損傷が約半数を占めています。

これまでも大型タンカー向けの棧橋では接岸速度計が設置されていますが、最近ではフェリーや石炭船、中小型タンカーなど様々な船種・船型において、安全離着棧を目的に接岸速度と距離を測定する需要が高まっています。

しかし一方で、機器が高価なことやケーブル敷設等の大規模な設置工事の必要性から、本格的な接岸速度計の導入にはまだまだ高い壁があるのが現状です。

本機器は、「もっと手軽に着棧情報を確認したい」というご要望に基づき開発した簡易タイプのポータブル着棧支援装置です。バッテリー内蔵のセンサを現場に設置するだけで、データを無線でタブレット型表示器に送信・表示するため、設置工事は一切不要です。

本機器は、着棧情報のより広いご活用を通じて、更なる安全な離着棧作業をサポートします。

特長

① シンプル構成・簡単接続

構成機器がセンサとデータ表示器のみ。さらに無線接続のためケーブル敷設や接続も一切不要です。センサを現場に設置してスイッチオンするだけで、すぐに測定できます。

② 持ち運び自由

小型・軽量のセンサは自由に持ち運び可能。船種・船型に合わせて設置場所を変更したり、複数の棧橋で機器を共有できます。また小型タブレットを使用したデータ表示器は、無線範囲内であれば、どこでも自由にデータ確認が可能です。

③ 簡単操作

データ表示ソフトはシンプル構成で、複雑な設定も不要。煩雑な操作もいらず、ボタン一つで測定できます。一方で、センサ設置位置による距離補正や、着棧速度に応じた注意・警報表示などの必要な機能は備えています。

④ 既設機器のバックアップ利用

現在使用中の接岸速度計に万が一のトラブルが発生し、着棧距離・速度の情報が必要な場合、バックアップ機として利用できます。

※既設機器の代替使用する場合、事前に関係各署とのご調整が必要です。

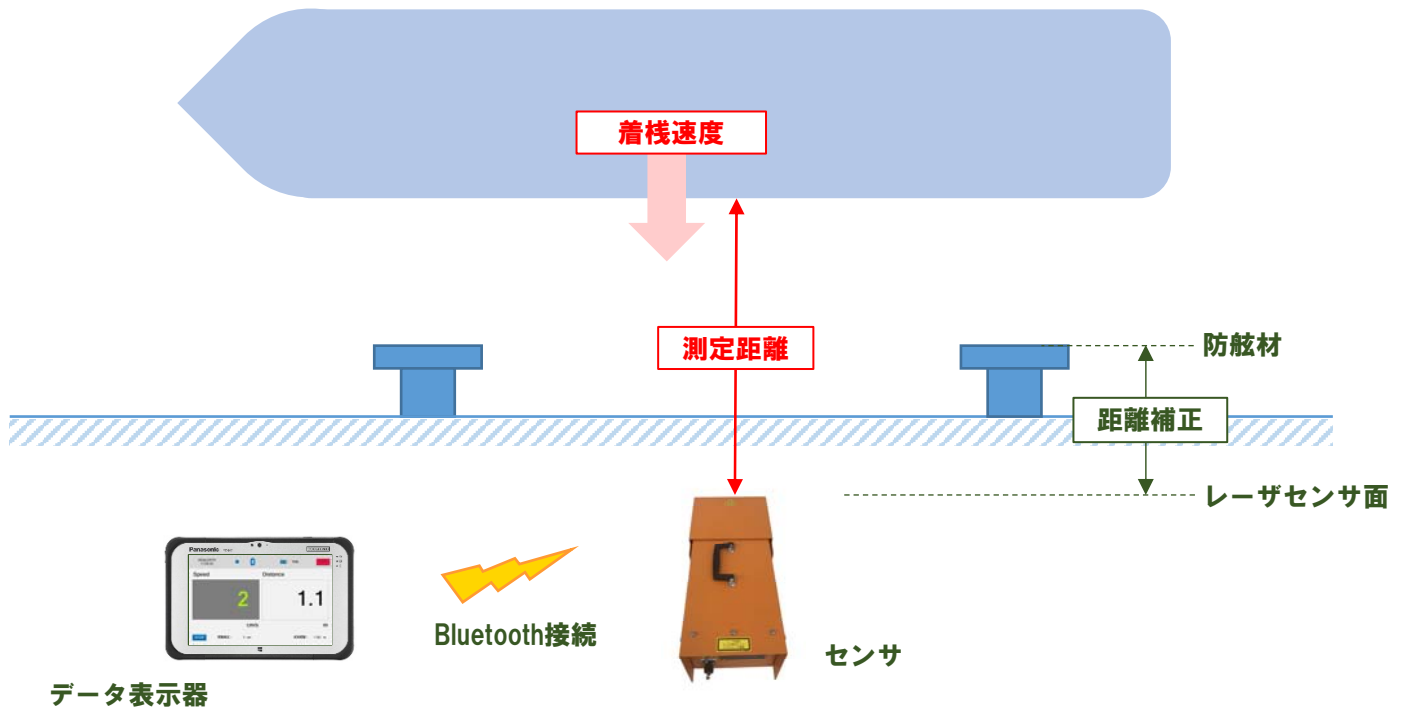
株式会社マリックスエンジニアリング

東京都港区新橋6丁目21番3号 UMAXビル5F
TEL: 03-6403-4477 / FAX: 03-6403-4700

記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。
本書の一部または全部を無断複製することは禁止されています。

Copyright © Marix Engineering K.K. All Rights Reserved

機器構成・システム概要



機器仕様

【センサ】



長さ: 約510mm (最大) 約460mm (収納時)	センサ: クラス2レーザ使用
幅: 約200mm	電源: 内蔵バッテリー
高さ: 約200mm (ゴム足含む)	通信方式: Bluetooth通信
重量: 約 6 kg	付属品: バッテリー充電器
筐体: アルミ製 (防滴仕様)	オプション: 専用収納ケース

※本機はクラス2のレーザ光線を照射します。目を損傷しますので、レーザ光線を凝視したり人や動物に向けないでください。また光学機器で直接レーザ光線を見ないでください。

【データ表示器】

寸法: 約188 x 279 x 23.5mm	【主な機能】
重量: 約 1.2 kg	① 着積距離の表示
表示: 10.1型	② 着積速度の表示
OS: Windows 10 Pro	③ 速度の警報表示・設定
測定距離: 1.0~60.0m	④ 測定距離の補正
分解能 (距離): $\pm 0.1m$	⑤ データのログ出力 (オプション)
測定速度: $-99 \sim 99cm/s$	
分解能 (速度): $\pm 1cm/s$	



※測定距離は標準時であり、使用環境によって変動する可能性があります。